

高知県健康診査管理指導協議会 乳がん部会

1. 日 時 平成24年12月19日(水) 19時～20時40分

2. 場 所 高知県庁2階第2応接室

3. 出席者 委員9名中9名出席、事務局5名出席

氏 名	所 属	職 種
安 藝 史 典	伊藤外科乳腺クリニック	医 師
秋 田 美智子	在宅保健活動者なでしこの会	保 健 師
宇 賀 四 郎	高知県医師会	医 師
小 嶋 み か	高知市保健所	保 健 師
杉 本 健 樹	高知大学医学部	医 師
高 橋 聖 一	高知県総合保健協会	医 師
原 澄 江	高知県総合保健協会	診療放射線技師
藤 島 則 明	高知赤十字病院	医 師
山 川 卓	やまかわ乳腺クリニック	医 師

(敬称略、五十音順)

4. 議 題

(1) 乳がん検診の実績等について

- ①がん検診推進事業での乳がん検診の実施状況について
- ②平成23年度の乳がん検診実績について
- ③平成23年度健康診査事業の実施状況調査結果について
- ④平成24年度検診費用徴収額調べについて

(2) 乳がん検診施設の基準見直しについて

(3) その他

- ①高知県乳がんネットワークの構築について
- ②乳がん検診受診率向上に向けたコール・リコールシステムの構築について
- ③マンモグラフィの読影料について
- ④若年者乳がんのサーベイランスについて
- ⑤乳がん検診の医療機関での個別検診化の拡大について

5. 協議事項

議題（1）乳がん検診の実績等について

平成23年度の乳がん検診実績について、受診者数や精検者数、精検結果についての報告を行った。

要精検率は、マンモグラフィ単独検診（集団検診）より、マンモグラフィ+視触診（医療機関検診）の方が高い結果であった。要因としては、医療機関検診では有症状者の受診が多いこと、受診者に若年者が多いことが考えられるとの議論がなされた。

議題（2）乳がん検診施設の基準見直しについて

高知県乳がん検診実施指針の本文中に、検診実施施設の施設画像基準として、「マンモグラフィ検診精度管理中央委員会のマンモグラフィ施設画像評価委員会の認定を受けていること」を追加してはどうか提案があり、承認された。

現在市町村乳がん検診を実施している施設のうち、当該認定を受けていない施設は5機関であり、平成25年度は移行期間として、認定を受けていない施設への周知を行い、平成26年度から指針に加えることとなった。

議題（3）その他 高知県乳がんネットワークの構築について

乳がん検診要精検者への精検受診勧奨時等に活用することを目的に、乳がんの検査や治療の各段階で一定の基準を満たす専門医療機関の一覧を作成し、公表を行うことに関して提案があり、今後高知県の基準の検討を開始することとなった。基準の設定後は、基準を満たしている医療機関を県ホームページ等で公表していくこととした。

議題（3）その他 乳がん検診受診率向上に向けたコール・リコールシステムの構築について

乳がん検診受診率向上のために、県内の一部市町村で良いので、徹底したコール・リコール（個別受診勧奨と未受診者への再勧奨）を実施してはどうかとの提案があった。事業実施市町村を選定し、既存のがん検診受診促進事業費補助金の活用や部会委員による住民向け啓発活動等を通じて乳がん検診の受診率向上に取り組むこととなった。

議題（3）その他 マンモグラフィの読影料について

高知県のマンモグラフィ読影料が他都道府県と比較し安価であることから、読影料を再検討する必要があるとの意見が出された。今後総合保健協会から読影医に対して説明予定。

議題（3）その他 若年者乳がんのサーベイランスについて

遺伝性の若年者乳がんについて啓発することを目的に、家系情報の把握と、家系にがん患者がいる場合の専門医の受診について啓発することに関する提案があり、県ホームページ等を通じての啓発について検討していくこととなった。

議題（3）その他 乳がん検診の医療機関での個別検診化の拡大について

平成25年度から、順次乳がん検診の医療機関での個別検診化を拡大していくことについて報告を行った。